

竹田キリシタン資料館 開設にあたっての資金協力をお願い



NPO法人「竹田キリシタン未来計画」は、平成28年9月に「竹田キリシタン資料館建設、調査、研究を通じて観光的な面から竹田市の活性化を図る」ことを目的として設立認可を受けました。

これまでも竹田市では文化的な観光推進が行われてきましたが、平成24年に開催された岡藩城下町400年祭で、1612年製のキリシタンベル「サンチャゴの鐘」の複製を製作したところ、思わぬ大きな反響と共に、これまでになかった層の観光客が目に見えて増加しました。

竹田はかつてのキリスト教日本八大布教地であり、戦国時代にはドン・パウロ志賀親次、江戸時代には高山右近と従兄弟である中川清秀の次男秀成が治めたことから、布教に寛容であったことが今日に遺る貴重な遺物や遺跡からうかがい知ることができます。

ただ、残念なことに現在の竹田市にはキリシタン資料館がないため、たとえ貴重なキリシタン遺物やイコン画を多数所有していても、イベント以外で観光客のみなさまにご覧いただくことができません。

そこで、NPO法人「竹田キリシタン未来計画」は、これを解消するために、みなさまから浄財を募ってキリシタン資料館を開設することとしました。目標金額は700万円で、内訳は建物内外の改修、展示設備設計施工とします。開設場所は、竹田市が平成29年度中に市の行政組織の一部として城下町の空き店舗に設置する「竹田キリシタン研究所」への併設を予定しています。内部には、サンチャゴの鐘、伝：聖ヤコブ石像、INRI石碑等、世界中で竹田にしかないキリシタン遺物をはじめ、イコン画数百点も竹田独自の謎とストーリーで演出しながら展示する計画です。

どうか、以上の経緯と趣旨をご理解いただき、なにとぞNPO法人「竹田キリシタン未来計画」に資金援助のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

NPO法人 竹田キリシタン未来計画 理事長 猪野 一男

竹田市は、NPO法人「竹田キリシタン未来計画」の活動を支援します。

竹田市では、キリシタンが遺した歴史文化の調査、研究、PRを市の施策として取り組んでおり、これを観光資源として位置づけて推進しています。それは、「歴史は立ち止まったらただの過去になってしまう」という私自身のポリシーに基づくものです。

現在、竹田市が所有するキリシタン遺物や遺跡は、独自の大いなる謎とストーリーに満ちていると同時に、世界中で竹田市しか無い貴重なものです。おかげさまで、近年では、キリシタンを目的として竹田市を訪れるお客様が目に見えて増加してまいりました。そのため、竹田市は平成29年度中に行政組織の一部として、城下町の空き店舗を利用した「竹田キリシタン研究所」を設置しますが、同時にこの建物の中にNPO法人「竹田キリシタン未来計画」が主体となって資金を集め、キリシタン資料館を併設、観光ボランティアセンターの機能も兼ね備えたいと考えています。

官民協働で竹田キリシタンを推進して市全体の活性化に繋げるという共通の観点から、竹田市もこのNPO法人「竹田キリシタン未来計画」を全面的に支援してまいります。どうか、趣旨をご理解いただき、竹田キリシタン資料館の実現に向けて、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



竹田市長
首藤 勝次

当NPO法人の趣旨にご賛同していただける方は、別紙の専用振込用紙をご利用ください。(振込手数料不要)

▶お一人様 一口1,000円以上とさせていただきます。

振込先

[銀行名] ゆうちょ銀行

[口座番号] 01780-7-146045

[口座名義] NPO法人 竹田キリシタン未来計画

現金でのご寄附も対応させていただきます。なお、当NPO法人は認定NPO法人ではないため、税法上の寄付金控除の対象にはなりませんので、予めご了承ください。